

## 2014年(平成26年)度 第2回常務理事会記録

日時：2014年(平成26年)3月26日(水) 12:00～14:40

場所：自治医科大学、医学部教育・研究棟1F、会議室1

出席者：河田光博(理事長)、寺田純雄、仲嶋一範、藤本豊土、渡辺雅彦(以上常務理事)、松崎利行、阪上洋行(以上常任幹事)、天野恵子、中村 聡(以上、口腔保健協会)

### I. 会議記録の確認

- (1) 2014年(平成26年)度第1回常務理事会(平成26年2月8日開催) 記録(案)
- (2) 2014年(平成26年)度第1回理事会(平成26年3月3～6日開催) 議事録(案)

### II. 報告事項

#### 1. 庶務報告(渡辺庶務担当理事)

##### (1) 会員異動報告

資料に基づき、以下の通り報告された。

平成26年2月分(入会：正会員 1名、学生 6名；退会者：正会員 15名、学生2名、賛助会員 2名)  
逝去会員3名

吉井亮一氏(富山大学杉谷キャンパス生命科学先端研究センター・技術専門職員・正会員)(享年61)

小島徳造氏(日本大学・名誉教授・名誉会員)(享年91)

松浦忠夫氏(明治国際医療大学・教授・正会員)(享年68)

堺 章 氏(大阪大学・名誉教授・名誉会員)(享年88)

##### (2) 年会費納入状況について(長期未納者の除名について)

資料に基づき2年以上の会費納入未納者リストが報告された。総会・学術集会の会場において未納者リストを掲示するとともに、口腔保健協会事務局及び支部長を通して会費納入の督促を再度行い、4年以上の未納者を除名処分する予定であることが報告された。

##### (3) 学会宛文書類について

資料の基づき、以下の通り報告された。

① 通知・依頼：公益財団法人内藤記念科学振興財団より「第38回内藤コンファレンスポスター発表者の募集について」他31件

② 書籍・定期通信：日本医学会より「第16回日本医学会公開フォーラムDVD」他12件

##### (4) 学会ロゴマーク募集について

資料に基づき日本解剖学会ロゴマークの募集を解剖学雑誌89巻(1,2号)及び学会ホームページに掲載したことが報告された。

##### (5) 日本学術会議マスタープラン2014について

資料に基づき、解剖学会が日本学術会議の第22期大規模研究計画に関するマスタープラン「学術大型研究計画」の公募に対して昨年3月に申請提案した研究課題「分子・かたち・疾患に統合する形態解析ネットワークの形成とデータベース構築」が、新規計画(区分I)選定課題(選定課題192件/申請課題総数209件)として採択されたこと、解剖学会が参画する脳科学連合の申請課題が重点大型研究課題として採択されたことが報告された。

##### (6) 肉眼解剖学教育に関するアンケート調査報告書

資料に基づき、教育・若手育成委員会が取りまとめた「肉眼解剖学教育に関するアンケート調査報告書」の内容が報告された。学会員の共有すべき貴重な情報であることから、今後、個人情報の取り扱いや詳細な補足情報の公開方法などの検討した上で、解剖学雑誌やホームページなどで学会員への公開の方向であることが報告された。

##### (7) その他

特になし

#### 2. 編集報告(藤本編集担当理事)

##### (1) 解剖学雑誌及びA S I 刊行報告

資料に基づき、解剖学雑誌89巻1・2号とA S I 89巻2号の発送(2014年3月7日)と次回の刊行予定(2014年6月)が報告された。

##### (2) その他

特になし

#### 3. 企画・渉外報告(仲嶋企画・渉外担当理事)

##### (1) 第119回日本解剖学会総会・全国学術集会の準備状況について

資料に基づき準備状況が報告された。

- (2) 第120回日本解剖学会総会・全国学術集会の準備状況について  
平成26年3月に開催された日本生理学会において、原田彰宏氏（大阪大学）と前田正信氏（和歌山県立医科大学）を委員長とする合同プログラム委員会による来年度合同大会プログラムの検討が開始されたことが報告された。
- (3) 二級技能士審査結果について  
資料に基づき、解剖組織技能士資格審査委員会による二級技能士審査判定結果（合格者1名）が報告された。
- (4) 日本医学会報告  
資料に基づき、日本医師会の内部組織としての日本医学会はそのまま残り、別途日本医学会の全分科会が参加する新法人として4月より発足する日本医学会連合の事業内容と定款内容について説明された。また、従来日本医学会が行ってきた活動は、今後は日本医学会連合で行う予定であること、日本医学会連合発足に伴う各分科会の負担金については、平成26年2月19日開催の定例評議会において「5万円＋（50円×会員数）」とすることが決議されたことが報告された。日本医学会連合発足に伴う各分科会負担金の算出根拠に関連して、平成25年度日本医師会予算（医学会の部）の支出内容に関する情報提供を日本医学会に問い合わせたところ、日本医学会連合の平成26年度予算に関する情報とともに、日本医学会の予算は日本医師会が負担するものであり医学会連合は関与しないとの回答が得られたことが報告された。なお、上記の定例評議会において、日本医学会連合は日本医師会からの資金援助に依存せずに活動できるよう資金的にも完全に独立するべきという意見が一部の評議員から出されたこと、それに対して、平成27年度以降の各分科会負担金に関しては未定であるとの回答が執行部からなされたことが報告された。
- (5) 生物科学学会連合報告  
資料に基づき、第9回定例会議内容が報告された。主な内容として、平成25年度決算報告と平成26年予算案、小中高等学校における動物実験の適正な実施に向けた指針の作成と国際基準への対応の必要性、国際生物学オリンピックの2020年の日本開催についての取り組みについて報告された。また、第1回教科書問題検討委員会、ポスドク問題検討委員会、日本学術会議主催学術フォーラム「世界のオープンアクセス政策と日本：研究と学術コミュニケーションへの影響」での会議内容が説明された。また、日本学術会議による「科学者の行動規範」に関する声明（平成25年1月25日）を、解剖学会ホームページにリンクすることにより学会員への周知を図り、学会としての本行動規範の遵守の姿勢を示すことが報告された。
- (6) 次期賞・研究費推薦候補者選考委員会の構成について  
資料に基づき、次期賞・研究費推薦候補者選考委員会の構成委員と、互選により中田隆夫氏（東京医科歯科大）が委員長として選出されたことが報告された。
- (7) その他  
特になし

#### 4. 会計報告（寺田会計担当理事）

- (1) 平成26年度中間決算書について  
平成26年度2月次会計報告書に基づき、順調に予算が執行されていることが説明された。
- (2) その他  
特になし

### III. 審議事項

- (1) 新入会員の承認  
全員異議なく承認された。
- (2) 平成25年度決算および業務監査報告の件（会計）  
定時社員総会配布資料に基づき平成25年度決算について説明があり、正味財産増減に関して3,737,466円の増加である旨報告された。本年度より「公益法人会計基準」（平成20年4月11日内閣府公益認定等委員会）に基づいた正味財産の増減ベースでの計算方式が採用されたこと、法人化以前の解剖学会の財産を公益目的に切り崩すための実施事業等会計と法人化後の財産を取り扱う法人会計に区別されていることなどの公益法人化に伴う会計記載方法の変更点が説明された。業務監査につき、牛木監事と仙波監事による監査報告書と小出公認会計士による外部監査人の監査報告書の内容が報告されて、承認された。
- (3) 平成26年度予算の件  
平成26年度予算につき収支予算書に基づき説明があった。概ね過去の実績にあわせているが、経常収益では、全国学術集会と支部学術集会事業収益の増加と和文誌刊行回数の減少による著者負担金収入・広告掲載収入の減少等が見込まれること、経常費用において、全国学術集会と支部学術集会事業費の増加、技能士名称変更等に伴う技能士認定業務費増加、法人化による賞状の筆耕等による奨励

賞・功労賞関係費増加、値上げに伴う事務委託費増加、実情に合わせたホームページ運営費・印刷費等の増加が見込まれるのに対して、和文誌刊行回数減少による会誌製作費・編集費の減少、理事等の交代がないための会議費の減少、電話回線解約による通信費や首都圏での学術集会・総会の開催による旅費交通費の減少等が見込まれることが説明され、承認された。

(4) 平成26年度定時社員総会資料および議事進行の確認

定時社員総会資料に基づき社員総会の議事内容と進行が確認された。奨励賞規約第4条の改定に伴い、今後、規約名称と第一条（目的）を含め規約全般の文章の見直しを検討することとした。

(5) 会員名簿作成とワーキンググループ立ち上げについて

平成25年度第7回理事会で承認された冊子体での会員名簿作成に向けて、渡辺理事を委員長としてワーキンググループを立ち上げることが承認された。

(6) 人体および人体標本提言の補足指針について

「ヒト由来正常組織および病理組織顕微鏡標本（ミクロ標本）の扱いについての補足指針」に関する追加提言に関する日本病理学会と日本法医学会との意見交換の内容が説明されて、本補足指針に関しては各学会で対応することとし、解剖学会はホームページで公表することで承認された。

(7) 2015（平成27）年度以降のASIにおける契約について

藤本理事より資料に基づき、シュプリンガー・ジャパン株式会社とのASI90巻(2015)以降の発行に関する契約条件の変更点に関して説明されて、本条件でジャーナル出版契約を締結することで承認された。今後、完全オンライン化などに関して、理事会やASI編集委員会で検討することとした。

(8) 大矢商会廃業に伴う対応について

藤本理事より資料に基づき、解剖学雑誌広告集稿委託業者である大矢商会の廃業についての経緯が説明され、解剖学会への広告掲載料が未収金となる可能性は低いことが報告された。今後の解剖学雑誌の広告集稿方法に関して検討した結果、別の広告代理店を口腔保健協会に紹介してもらうこととした。

(9) 利益相反（COI）への対応について

仲嶋理事より資料に基づき、日本医学会COIマネジメントセミナー（平成26年2月28日開催）内容と各学会におけるCOI管理状況が説明された。解剖学会として、日本医学会による「COIマネジメントに関するガイドライン」に沿ったCOI委員会の設置と運用に向けてさらに検討する方向であることが説明され、了承された。

(10) 日本薬理学会・日本生理学会との連携について

河田理事長より資料に基づき、日本生理学会および日本薬理学会との学術集会の共同開催や連携シンポジウムの充実に関する日本生理学会将来計画委員会（前田正信委員長）からの提案に関して説明された。学会の独自性、参加登録費の分配方法、学会運営方法などに関する様々な意見が出され、今後、継続して検討することとした。

(11) ドイツ解剖学会との交流について

河田理事長より、来年度の解剖学会総会にドイツ語圏解剖学会（Anatomische Gesellschaft, AG）事務局長 Friedrich Paulsen教授(Erlangen-Nuremberg大学)を学術招待し、AGとの学術交流の再開を検討する意向が説明され、了承された。

(12) その他

特になし

(13) 次回以降の役員会予定

第3回常務理事会 平成26年6月14日（土）13:00～15:00 東京医科歯科大学

第4回常務理事会 平成26年9月20日（土）14:00～16:00 東京医科歯科大学

第5回常務理事会 平成26年12月20日（土）12:00～14:00 東京駅近郊の会議室

第3回理事会 平成26年12月20日（土）14:00～16:00 東京駅近郊の会議室